

学校評価／学校関係者評価

学校自己評価の結果をもとに、学校運営の更なる改善及び教育水準のより一層の向上を図ること等を目的として、学校関係者委員会による評価、ご意見を伺いましたので、以下に報告いたします。

尚、令和元年度の学校関係者評価につきまして、令和2年4月に委員会開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、書面による委員会開催とさせていただきます。

Ⅱ. 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員

委員構成 ; 学識経験者 1名、 当校卒業生 1名、 地区町会役員 1名

(2) 学校関係者評価委員会 開催日時 : 令和2年4月21日(火)午後2時～(予定)

事務局 : 校長、副校長、事務長

新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、以下のように書面集約による開催とした。

- ・令和元年度学校自己評価結果および集約表の郵送：令和2年4月7日
- ・ご意見集約表の提出期限 : 令和2年4月24日(金)

(3) 学校関係者評価委員会の結果報告

項目	内容	評価・ご意見・ご提言・今後の課題
教育理念・目的	教育理念・目的・目標 育人人材像 特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念や目的・目標は教職員の理解が進んでいる。 ・理念・目的に対するポイントは高く、教職員が一丸となって学生の育成に当たっているということが伺える。 ・命を尊び、人間としての喜び・悲しみ・苦しみを汲むことのできる看護師を地域に排出していく理念・目的は大いに評価できる。 ・学校独自の特徴をより明確に出せれば、さらに充実していくと考えられる。 ・幅広い年代、キャリアの差異、多様な出身地の学生たちが「3年間、働きながら学び、国家試験に合格する」という過酷な目標に向かうことを指導するにあたり、とても大切なことだと思う。
学校運営	運営方針 事業計画 組織・制度 意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は運営方針や目標をよく理解している。 ・適宜、学校運営や体制・諸制度の見直しが行われている。 ・運営方針、事業計画、会議の機能性が高得点なのに対し、人事や賃金に対する評価が低いところが気になる。功績や貢献度、「やる気」、学生からの評価など考慮し、教職員のモチベーションアップも図るべきではないか。
教育課程・教育活動	カリキュラム 指導体制 学習評価 実習体制	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの提供や学生の教育・指導等がよく行われている。 ・質の高い看護師育成に向けて設定されたカリキュラムに沿った教育指導体制が整っている。 ・学生の資格取得や就職は順調に行われており、指導体制ができています。 ・実習における患者への倫理的配慮が高得点であることは素晴らしいと思う。理念・目的が達成されているという点だけでなく、何よりも「教職員が学生に対してそのように評価している」からである。このことは、是非学生へ知らせてあげて欲しい。 <p>実習は辛いことが多いため、先生方からの高い評価を聞けば「頑張った良かった」と思える。働くようになってからの励みにもなると思う。</p>

項目	内 容	評価・ご意見・ご提言・今後の課題
教育 教育課程 活動・	職場内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の課題に対応する職場研修を計画し、定期的の実施することで職場の活性化につながると思う。 ・職場内研修の自己評価が低いことは残念。人員不足もあるでしょうが、研修の機会や助成を増やし、教職員への研修をすすめ、学生へフィードバックしてほしい。
教育 成果	就職率、資格取得率の向上 退学率の低減 卒業生の社会的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・休学・退学者があるものの在校生の看護師国家試験合格率向上に対して、模擬試験の複数回実施や卒業生による経験講義の実施など施策が図られている点は評価できる。 ・退学・休学を減らすために、学生が悩みを相談しやすいよう教職員側の体制を整えると共に、学生同士が緊密に交流出来るようなグループ活動（仲間づくり）を促進する必要があると思う。 ・退学の要因には経済的なものや挫折があると思う。「〇〇先生のお蔭でなんとか続けられた」という学生が1人でもいてくれる様、教職員と学生のコミュニケーション向上を図ってほしい。 ・卒業生の就職先での評価を定期的に収集し、その結果を基に学生への教育・指導に活かしていくことが大切。 ・卒業生の活躍・評価の把握のポイントが低いのは残念。大病院での活躍・台頭、知識や手技が最先端、超一流という面ではなくても、活躍や評価を聴くことはできるはず。是非、把握するよう努めてほしい。
学生 への 支援	学生の健康管理 課外活動への支援 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康管理体制の評価が低いようですが、退学・休学の削減効果も見込まれることから、進学・就職相談と同じように、学生からの健康面での相談にも対応できる体制を整えることが重要だと思う。 ・働きながら学ぶ学生に対して、心身面・健康管理は最優先事項だと思う。反対に、優先順位は下がるかもしれないが、課外活動への支援は、特に経験の少ない学生に対して、機会を設けたらどうかと思う。特養などでのボランティア活動など出来ることから経験を積み「自分はみんなより遅れている」という劣等感が軽減して自信につながり、退学が減るかもしれない。 ・課外活動への支援体制について、課外活動を通して学生同士の結びつきが強まり、精神的な成長にも繋がると考えられるため、課外活動への支援は積極的に進めていくべきと考えます。 ・学生が金銭的に自立しているため、保護者の介入が少なく、保護者と学校の連携が取りづらい状況ようですが、保護者の興味を引く形で学生の学校生活を紹介する機会（例えば、授業参観、学校祭に参加など）を作ってみてはどうか。
管理 運営 ・ 財政	財務基盤の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤に対して強い不安を感じている教職員が多いように感じる。 ・不安を解消するためにも、財務の現状と改善点についての定期的な説明が必要だと思う。 ・病院経営が難しい昨今の事情に加え、コロナショックで更に厳しい状況となっている。一方で潜在看護師の復帰のきっかけともなっている。是非、准看護師として勤務している方々に対して「働きながら学べる学校」をアピールして誘致してほしい。 ・学校の母体医療法人からの財政支援軽減のためにも学生の定員確保へ向けて尽力する必要がある。
教育 環境	施設、設備 学生スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎は多々配慮された施設になっている。飲食の設備やスペースはやや狭い。 ・学生が増えたことから交流スペースが狭く感じられるようなので、空き部屋の利用などを考えてもいいのではないかな。 ・現状、学生のためのスペースは狭いと思う。校舎は定員を満たすと「3蜜」になってしまうため、学生の健康維持のためには工夫が必要。

項目	内 容	評価・ご意見・ご提言・今後の課題
教育環境	学生スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先での学生の「居場所」もかなり狭いというのが実情ではないか。難しいと思うが、着替え・休憩場所など、少しでも改善されると学生・実習担当教員のストレス軽減になると思う。
法令の順守	法令順守 自己評価による改善	<ul style="list-style-type: none"> ・法令や設置基準の順守意識は共有されている。そのためか昨年に比べ、問題点の改善に努めているとの回答が減ったようですが、PDCAサイクルを活用するなどして、解決へつなげていくことが重要である。 ・自己評価に加えて、学校関係者評価による学校運営の更なる向上を期待している。
学生と受入れ	学生募集 学納金	<ul style="list-style-type: none"> ・定員割れを防止するために、高校・准看護学校側との情報共有が重要だと思う。 ・学生に対する教育内容を随時説明できる体制を作り、教職員が高校・准看護学校側へ説明に向かう方法も効果的ではないか。また、出前授業などを検討してはどうか。 ・開校当初を知る者としては、成果は上がっていると思う。准看護学校の閉校が続く中、様々な工夫や、HPも細かいところまで気を配って作られており、情報を得たい受験生には魅力的なものになっている。 ・学校説明会など適宜行われており、それなりの実績が出ているが、財政面からも更なる受入れができるよう、説明会地域の開拓やホームページの充実が必要ではないか。 ・学納金に対しては、学生の側からすると当校は高いと思う。奨学金など様々な援助を提示して、引き続き学生を支えてあげてほしい。
社会貢献	地域社会との連携 学生ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会への協力や貢献活動は順調に行われている。 ・母体の医療法人は、地域に根付いている病院・施設であり、高齢化による「地域包括」の必要性は高まる一方である。本校で学び、看護師として働くことは必ず社会貢献につながる。本校の卒業生たちが「倫理観」を大切に生き生きと活動していくことを願う。 ・勤労学生のボランティア活動は時間的制約が強いため、学生のボランティア意欲を引き出すことが重要です。活動時間の短い学内の小さなボランティア活動からスタートし、学生の意欲向上に合わせて段階的に活動を広げる検討が必要だと思う。 ・勤労学生だから社会貢献が難しいという見方ではなく、勤労学生だからできる社会貢献を検討し実施することが大切。そのためには、全員揃ってでなくとも、一部の学生でもよいのではないか。町会との連携など、いくつかの社会貢献やボランティア事項を抽出し、最低ひとつでも携わることにしてはどうか。